

2022年11月17日
イオン九州株式会社

宮崎県日向市産カモミール使用

マスターソムリエ 高野 豊セレクション

『Camomile GIN(カモミールジン)』

イオン宮崎店・イオン日向店など宮崎県内の6店舗にて販売！

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、宮崎県日向市産のカモミールを使用したマスターソムリエ 高野 豊セレクション『Camomile GIN(カモミールジン)』を宮崎県内の「イオン」「マックスバリュ」6店舗にて11月21日（月）から販売いたします。

日向市では中山間地域の活性化を目指し、2015年から東郷町域において「薬草の里づくり」を推進しています。熊本大学薬学部と連携した取り組みを進め、現在、東郷まちづくり協議会が、カモミールなどの薬草の栽培を行っています。イオン九州では本年5月に東郷まちづくり協議会協力のもと労使共同社会貢献活動としてカモミールの収穫支援を行いました。



一輪一輪 手摘みで収穫を行った日向市産のカモミール

東郷町で栽培された「カモミール」は、農薬を使わずに一輪ずつ手で摘んで収穫しており、他の輸入品と比べ、香りが高く花の形もはっきりしている点が特徴です。

2年目となる『Camomile GIN(カモミールジン)』は今年収穫したカモミールを使用し、マスターソムリエとして活躍されている高野 豊氏の監修で株式会社 羽田麦酒（東京都大田区）にて製造されました。宮崎県日向市産カモミールをふんだんに使った“コンパウンドジン”（漬け込みジン）で、カモミールの軽やかなりんごにも似た香りと、ジュニパーベリー（ヒノキ科の実）のハーバルな香りが生み出すシンフォニーをお楽しみいただけます。氷を浮かべロックで飲むことにより、味や香りの変化を楽しむのはもちろん、炭酸で割ると華やかに香りが沸き立ちます。

イオン九州は、地域のみなさまとのつながりを大切に、商品開発・販売を通じて、これからも九州の魅力発信に努めてまいります。

◆マスターソムリエ 高野 豊セレクション『Camomile GIN(カモミールジン)』について◆



- 商品名：マスターソムリエ 高野 豊セレクション
『Camomile GIN(カモミールジン)』
- 販売開始日：2022年11月21日（月）
- 価格：500ml 本体価格3,250円（税込価格3,575円）
180ml 本体価格1,580円（税込価格1,738円）
※500mlはイオン宮崎店・イオン日向店のみでの販売です。
- アルコール度数：40度
- 製造者：株式会社 羽田麦酒（東京都大田区多摩川1-23-12 1階）
- 販売店舗：イオン宮崎店（宮崎県宮崎市新別府町江口862-1）
イオン日向店（宮崎県日向市大字日知屋字古田町61-1）
イオン多々良店（宮崎県延岡市岡富町154番）
イオン延岡店（宮崎県延岡市旭町2丁目2-1）
マックスバリュ南延岡店（宮崎県延岡市構口町2丁目204-7）
マックスバリュ岡富店（宮崎県延岡市中川原町2-4920）
- 商品特徴：秋の草原を走り抜けるようなカモミール独特の深い香りが感じられ、ハーブ系ジンとしては注目すべき最高の品質に仕上がっています。

※写真は500mlの商品です。

※お酒の販売は、20歳以上の方に限らせていただきます。

※数量限定のため、無くなり次第終了となります。

販売開始にあたり11月23日(水・祝)に「イオン日向店」、11月24日(木)に「イオン宮崎店」において、マスターソムリエ 高野 豊氏による推奨販売を実施いたします。

◆マスターソムリエ 高野 豊氏による推奨販売◆

イオン日向店

会場：イオン日向店 正面入口 特設会場

日時：2022年11月23日(水・祝) 10:00~17:00

イオン宮崎店

会場：イオン宮崎店 1階 リカー売場

日時：2022年11月24日(木) 10:00~16:00

※業務都合により不在にする場合がございます。

◆マスターソムリエ 高野 豊氏からのコメント◆

宮崎県日向市東郷町で栽培されたカモミールを使用し、東京の羽田ブルワリーが世界でただ一つの高品質なジンに仕上げました。

カモミールが咲く草原を散歩しているような、華やかな香りをお楽しみください。

高野 豊氏

1951年 長野県長野市生まれ。株式会社高野総本店代表取締役、イオンリカーのアドバイザーであり、国内に50数名しかいないマスターソムリエの1人。農業系ソムリエと呼ばれる。

超一流ホテルのサービスから田舎の公民館でワインを楽しむ会の講師等、幅広く活躍中です。



◆『Camomile GIN(カモミールジン)』の原料について◆

『カモミール』

東郷町まちづくり協議会を中心とした地域おこしの一環として栽培されています。農薬を一切使わず、一輪一輪手摘みで収穫をおこなったカモミールです。

ヨーロッパでは「母の薬草」と呼ばれ、心身をリラックスさせるハーブの代表で、日本には江戸時代末期に医学の薬としてオランダから持ち込まれたと言われています。



『ジュニパーベリー』

ジュニパーベリーはヒノキ科の実です。徳川家康の時代に始まったとされる奥多摩の林業で栽培されたヒノキは、江戸の町づくりに欠かせない木材として多摩川を使った水運を通じ供給されていました。

東京都の天然記念物に指定されている巨樹「倉沢のヒノキ」をはじめ、現在でも奥多摩に広がるヒノキは多くの人に愛されています。

※ジュニパーベリーは外国産を使用しています